

# 業績ハイライト

－ 2025年3月期第2四半期決算について －



# 目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 2025年3月期通期業績予想及び配当方針	…	10

# 1. 損益の状況

## ① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	2024年9月期			2023年9月期	2024年3月期 (参考)
	前年同期比	増減率			
連結経常収益	19,156	△ 122	△ 0.6	19,278	37,942
経常利益	2,223	214	10.6	2,008	△ 22,329
親会社株主に帰属する中間純利益	1,414	△ 106	△ 6.9	1,520	△ 23,462

- 連結経常収益は、きらやかリースの減収により、前年同期比△1億22百万円の19億56百万円となりました。
- きらやか銀行において経費と与信関係費用が下回ったこと、仙台銀行において資金利益と役務取引等利益が増加したことなどにより、経常利益は、前年同期比2億14百万円増加の22億23百万円となりました。
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比1億6百万円減少の14億14百万円となりました。

## ② 2行合算

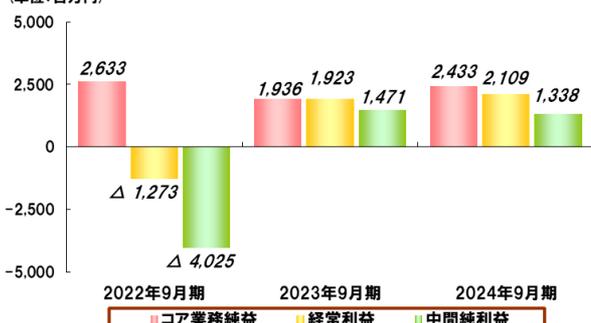
(単位:百万円、%)

	2024年9月期			2023年9月期	2024年3月期 (参考)
	前年同期比	増減率			
経常収益	16,634	233	1.4	16,401	32,390
業務粗利益	12,955	179	1.4	12,775	17,916
資金利益	11,627	137	1.1	11,490	23,235
役務取引等利益	1,204	29	2.4	1,175	3,000
その他業務利益	123	13	11.9	110	△ 8,318
うち国債等債券損益	△ 47	67	-	△ 115	△ 8,590
経費(除く臨時処理分)	10,569	△ 385	△ 3.5	10,954	21,700
うち人件費	4,961	△ 274	△ 5.2	5,236	10,230
うち物件費	4,743	13	0.2	4,729	9,532
実質業務純益(注1)	2,386	564	31.0	1,821	△ 3,783
コア業務純益(注2)	2,433	496	25.6	1,936	4,807
除く投資信託解約損益	2,422	505	26.3	1,917	4,678
①一般貸倒引当金繰入額	98	98	-	-	2,257
業務純益	2,288	466	25.6	1,821	△ 6,040
臨時損益	△ 178	△ 281	-	102	△ 16,044
②うち不良債権処理額	451	△ 98	△ 17.9	550	16,464
うち個別貸倒引当金繰入額	179	179	-	-	15,122
③うち貸倒引当金戻入益	115	△ 455	△ 79.8	570	21
④うち偶発損失引当金戻入益	166	157	-	9	578
うち株式等関係損益	△ 0	△ 110	-	110	723
経常利益	2,109	185	9.6	1,923	△ 22,085
特別損益	△ 55	△ 66	-	10	△ 1,076
法人税等合計(△)	714	251	54.2	463	99
うち法人税等調整額(△)	433	167	63.2	265	△ 390
中間純利益	1,338	△ 132	△ 9.0	1,471	△ 23,260
与信関係費用①+②-③-④	266	296	-	△ 29	18,700

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比2億33百万円増加の166億34百万円となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費の減少や資金利益の増加などから、前年同期比4億96百万円増加の24億33百万円となりました。
- 与信関係費用は、貸倒引当金戻入益が減少したことなどから、前年同期比2億96百万円増加の2億66百万円となりました。
- 経常利益は、前年同期比1億85百万円増加の21億9百万円。中間純利益は、前年同期比1億32百万円減少の13億38百万円となりました。

# 1. 損益の状況

## ③ きらやか銀行単体

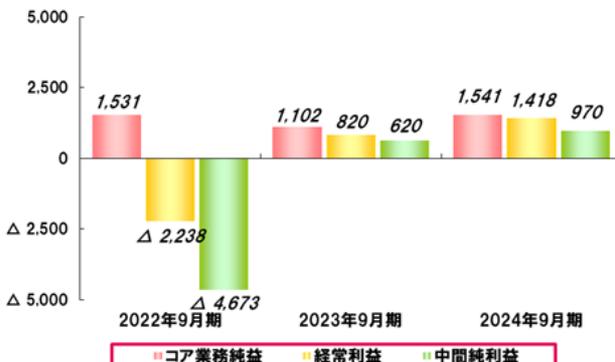
(単位:百万円、%)

	2024年9月期			2023年9月期	2024年3月期 (参考)
		前年同期比	増減率		
経常収益	8,867	224	2.6	8,642	17,272
業務粗利益	6,958	46	0.6	6,912	6,170
資金利益	5,905	17	0.2	5,887	11,873
うち貸出金利息	5,827	179	3.1	5,647	11,378
うち有価証券利息配当金	155	△ 65	△ 29.6	221	507
うち預金等利息(△)	206	154	293.9	52	144
役務取引等利益	904	9	1.0	895	2,234
その他業務利益	148	19	14.9	128	△ 7,936
うち国債等債券損益	△ 25	△ 11	-	△ 13	△ 8,170
経費(除く臨時処理分)	5,442	△ 380	△ 6.5	5,822	11,486
うち人件費	2,487	△ 209	△ 7.7	2,696	5,294
うち物件費	2,509	△ 48	△ 1.9	2,558	5,180
実質業務純益(注1)	1,516	426	39.1	1,089	△ 5,316
コア業務純益(※注2)	1,541	438	39.7	1,102	2,854
(除く投資信託解約損益)	1,541	438	39.7	1,102	2,779
①一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	2,257
業務純益	1,516	426	39.1	1,089	△ 7,573
臨時損益	△ 97	171	-	△ 268	△ 16,205
②うち不良債権処理額	188	△ 289	△ 60.6	477	16,247
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	15,122
③うち貸倒引当金戻入益	115	△ 87	△ 43.0	202	-
④うち偶発損失引当金戻入益	166	166	-	-	-
うち株式等関係損益	△ 141	△ 139	-	△ 1	276
経常利益	1,418	598	72.8	820	△ 23,778
特別損益	△ 28	△ 81	-	53	△ 1,002
法人税等合計(△)	419	166	65.7	253	△ 352
うち法人税等調整額(△)	408	166	68.4	242	△ 388
中間純利益	970	350	56.3	620	△ 24,428
与信関係費用 ①+②-③-④	△ 93	△ 368	-	274	18,504

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 経常収益は、有価証券利息配当金が減少したものの、貸出金利息が増加したことなどから、前年同期比2億24百万円増加の88億67百万円(増減率2.6%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費の減少と資金利益の増加などにより、前年同期比4億38百万円増加の15億41百万円となりました。
- 与信関係費用は、不良債権処理額が減少したことなどから、前年同期比3億68百万円減少の△93百万円となりました。
- 経常利益は、コア業務純益の増加と与信関係費用の減少などにより、前年同期比5億98百万円増加の14億18百万円となりました。中間純利益は、前年同期比3億50百万円増加の9億70百万円となりました。

# 1. 損益の状況

## ④ 仙台銀行単体

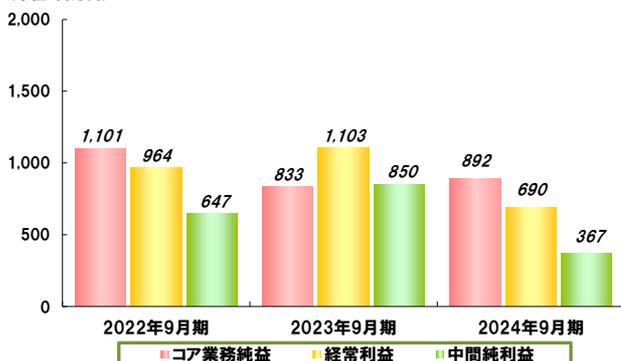
(単位:百万円、%)

	2024年9月期			2023年9月期	2024年3月期 (参考)
		前年同期比	増減率		
経常収益	7,767	8	0.1	7,759	15,118
業務粗利益	5,997	133	2.2	5,863	11,746
資金利益	5,722	119	2.1	5,602	11,362
うち貸出金利息	5,683	276	5.1	5,406	10,974
うち有価証券利息配当金	148	7	5.5	140	278
うち預金等利息(△)	193	166	618.9	26	57
役務取引等利益	299	19	7.0	280	766
その他業務利益	△24	△6	-	△18	△381
うち国債等債券損益	△22	79	-	△101	△420
経費(除く臨時処理分)	5,127	△4	△0.0	5,131	10,213
うち人件費	2,474	△64	△2.5	2,539	4,935
うち物件費	2,233	62	2.8	2,171	4,352
実質業務純益(注1)	869	138	18.8	731	1,532
コア業務純益(注2)	892	58	7.0	833	1,953
(除く投資信託解約損益)	881	66	8.1	814	1,898
①一般貸倒引当金繰入額	98	98	-	-	-
業務純益	771	39	5.4	731	1,532
臨時損益	△81	△452	-	371	160
②うち不良債権処理額	263	190	261.7	72	217
うち個別貸倒引当金繰入額	179	179	-	-	-
(貸倒償却引当費用①+②)	361	288	396.3	72	217
うち貸倒引当金戻入益	-	△368	-	368	21
うち株式等関係損益	141	29	26.4	111	446
経常利益	690	△412	△37.3	1,103	1,693
特別損益	△27	14	-	△42	△73
法人税等合計(△)	295	84	40.3	210	452
うち法人税等調整額(△)	24	1	7.4	22	△1
中間純利益	367	△482	△56.7	850	1,167
与信関係費用	360	665	-	△304	195

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)

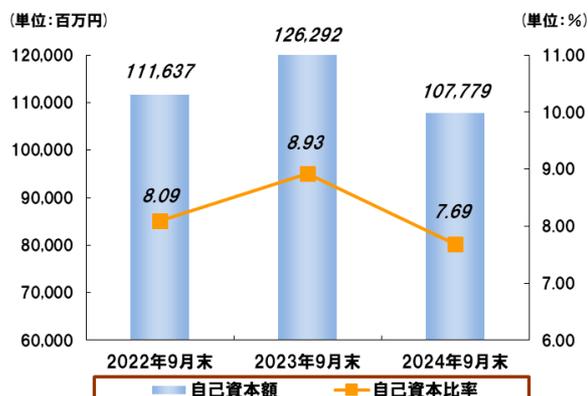


- 経常収益は、貸出金利息が増加したことなどから、前年同期比8百万円増加の77億67百万円となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、前年同期比58百万円増加の8億92百万円となりました。
- 与信関係費用は、貸倒引当金戻入益が減少し、不良債権処理額が増加したことなどから、前年同期比6億65百万円増加の3億60百万円となりました。
- 経常利益は、前年同期比4億12百万円減少の6億90百万円、中間純利益は、前年同期比4億82百万円減少の3億67百万円となりました。

## 2. 自己資本比率の状況

### ① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移



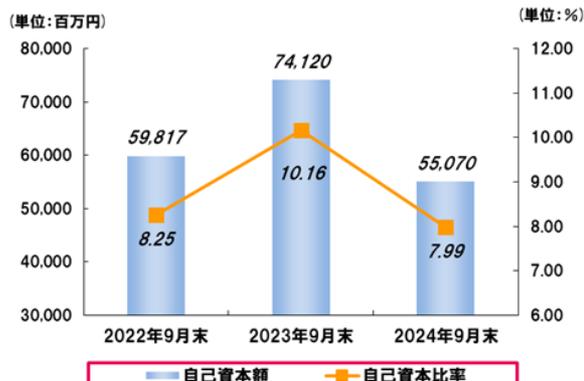
- 2023年9月に金融機能強化法のコロナ特例公的資金180億円、同年12月にSBI地銀ホールディングス株式会社に対する第三者割当増資19.6億円により、資本調達しました。
- 一方で、2024年3月期の期末決算において、きらやか銀行の大幅赤字決算により、親会社株主に帰属する当期純損失234億円を計上しました。
- このため2024年9月末の連結自己資本比率は、2023年9月末比1.24ポイント低下の7.69%となりました。

(単位:%)

	2024年 9月末	2023年 9月末比	2023年 9月末
連結自己資本比率	7.69	△ 1.24	8.93

### ② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



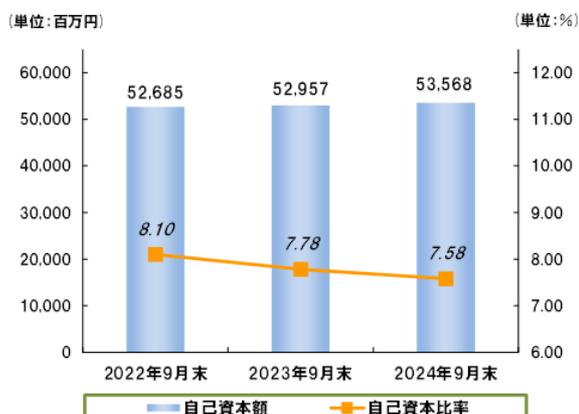
- 単体の自己資本比率は、貸出金などが減少したことによりリスクアセット(分母)が減少した一方で、2024年3月期決算において大幅な赤字を計上し、自己資本額(分子)が減少したことから、2023年9月末比2.17ポイント低下の7.99%となりました。

(単位:%)

	2024年 9月末	2023年 9月末比	2023年 9月末
自己資本比率【単体】	7.99	△ 2.17	10.16
自己資本比率【連結】	7.81	△ 2.17	9.98

### ③ 仙台銀行

自己資本比率(単体)の推移



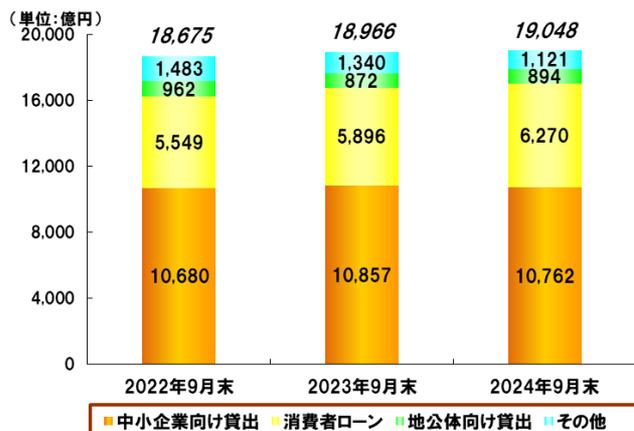
- 単体の自己資本比率は、中間純利益を3億67百万円計上したことにより自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことから、2023年9月末比0.20ポイント低下の7.58%となりました。

(単位:%)

	2024年 9月末	2023年 9月末比	2023年 9月末
自己資本比率【単体】	7.58	△ 0.20	7.78
自己資本比率【連結】	7.58	△ 0.20	7.78

# 3. 貸出金の状況

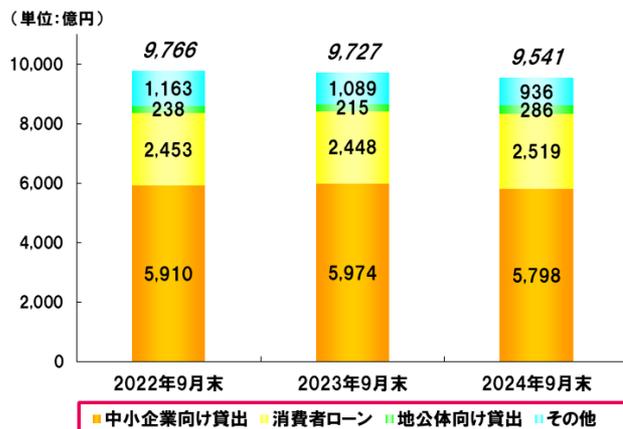
## ① 2行合算



● 2行合算の貸出金残高は、2023年9月末比81億99百万円増加の1兆9,048億92百万円となりました。

	(単位: 百万円、%)			2023年9月末
	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	
貸出金(末残)	1,904,892	8,199	0.4	1,896,693
うち中小企業向け貸出残高	1,076,218	△ 9,539	△ 0.8	1,085,758
うち消費者ローン	627,073	37,395	6.3	589,677
うち住宅ローン	572,401	25,169	4.5	547,232
うち地方公共団体向け貸出	89,424	2,211	2.5	87,212

## ② きらやか銀行



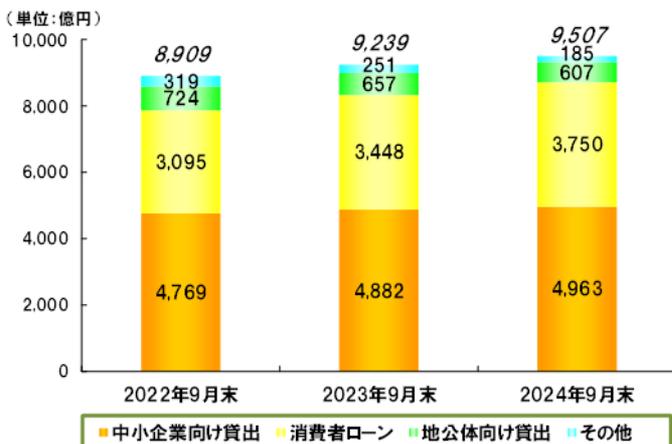
● 貸出金残高は、地方公共団体向け貸出が増加した一方で、中小企業向け貸出が減少したことなどから、2023年9月末比185億45百万円減少の9,541億91百万円となりました。

● 中小企業向け貸出は、2023年9月末比176億39百万円減少の5,798億42百万円となりました。

● 消費者ローンは、2023年9月末比71億68百万円増加の2,519億89百万円となりました。

	(単位: 百万円、%)			2023年9月末
	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	
貸出金(末残)	954,191	△ 18,545	△ 1.9	972,736
うち中小企業向け貸出残高	579,842	△ 17,639	△ 2.9	597,481
うち消費者ローン	251,989	7,168	2.9	244,821
うち住宅ローン	226,777	△ 2,949	△ 1.2	229,726
うち地方公共団体向け貸出	28,697	7,191	33.4	21,506

## ③ 仙台銀行



● 貸出金残高は、2023年9月末比267億44百万円増加の9,507億1百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

● 中小企業向け貸出は、スピード対応やオーダーメイド型融資の取扱いにより新規取引先が増加したことなどから、2023年9月末比80億99百万円増加の4,963億76百万円となりました。

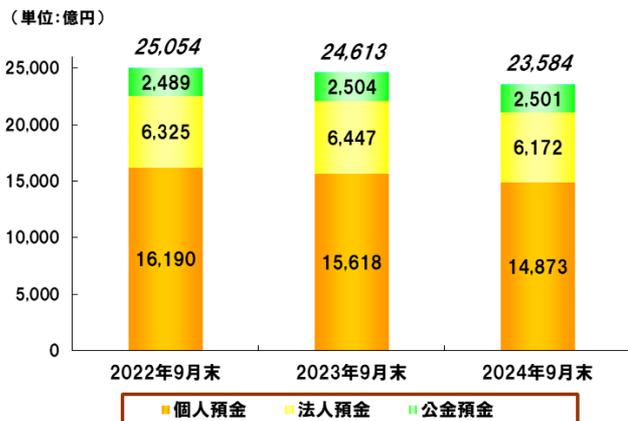
● 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2023年9月末比302億27百万円増加の3,750億84百万円となりました。

● 地方公共団体向け貸出は、2023年9月末比49億79百万円減少の607億27百万円となりました。

	(単位: 百万円、%)			2023年9月末
	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	
貸出金(末残)	950,701	26,744	2.8	923,956
うち中小企業向け貸出残高	496,376	8,099	1.6	488,277
うち消費者ローン	375,084	30,227	8.7	344,856
うち住宅ローン	345,624	28,118	8.8	317,506
うち地方公共団体向け貸出	60,727	△ 4,979	△ 7.5	65,706

# 4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

## ① 2行合算

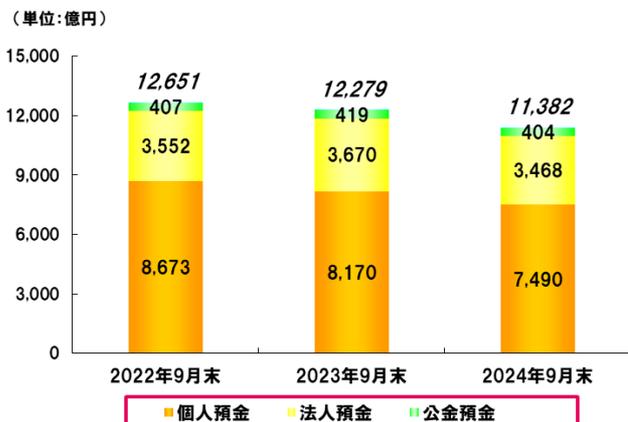


- 2行合算の預金残高は、2023年9月末比1,029億29百万円減少の2兆3,584億69百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	2023年9月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,358,469	△ 102,929	△ 4.1	2,461,398
うち個人預金	1,487,390	△ 74,479	△ 4.7	1,561,869
うち法人預金	617,215	△ 27,562	△ 4.2	644,777
うち公金預金	250,124	△ 372	△ 0.1	250,496

## ② きらやか銀行

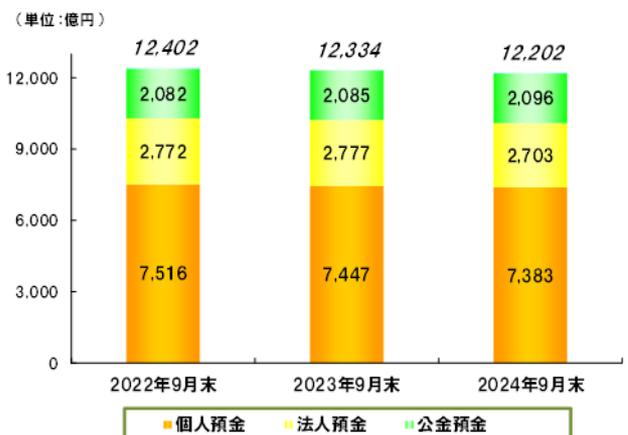


- 預金残高は、2023年9月末比897億2百万円減少の1兆1,382億5百万円となりました。
- 個人預金は2023年9月末比680億円減少の7,490億87百万円となりました。
- 法人預金は、2023年9月末比201億49百万円減少の3,468億69百万円となりました。
- 公金預金は、2023年9月末比14億69百万円減少の404億58百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	2023年9月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,138,205	△ 89,702	△ 7.3	1,227,907
うち個人預金	749,087	△ 68,000	△ 8.3	817,088
うち法人預金	346,869	△ 20,149	△ 5.4	367,019
うち公金預金	40,458	△ 1,469	△ 3.5	41,928

## ③ 仙台銀行



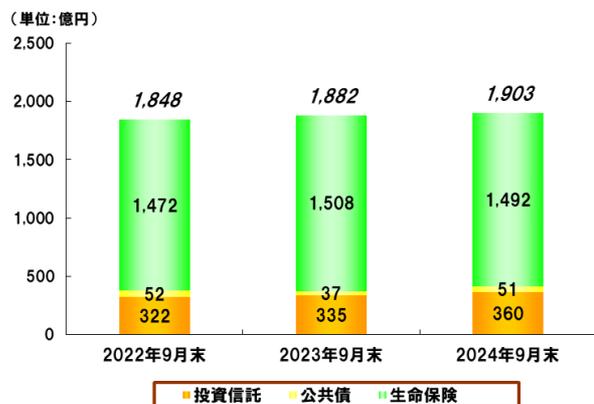
- 預金残高は、2023年9月末比132億26百万円減少の1兆2,202億63百万円となりました。
- 個人預金は、2023年9月末比64億78百万円減少の7,383億3百万円となりました。
- 法人預金は、2023年9月末比74億12百万円減少の2,703億46百万円となりました。
- 公金預金は、2023年9月末比10億97百万円増加の2,096億65百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	2023年9月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,220,263	△ 13,226	△ 1.0	1,233,490
うち個人預金	738,303	△ 6,478	△ 0.8	744,781
うち法人預金	270,346	△ 7,412	△ 2.6	277,758
うち公金預金	209,665	1,097	0.5	208,568

# 5. 預かり資産の状況

## ① 2行合算

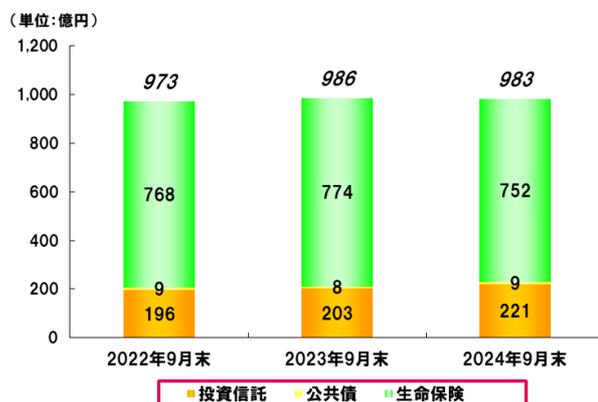


- 2行合算の預かり資産残高は、2023年9月末比21億66百万円増加の1,903億74百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	2023年9月末
預かり資産(末残)	190,374	2,166	1.1	188,207
うち投資信託	36,066	2,481	7.3	33,584
うち公共債(国債等)	5,100	1,351	36.0	3,749
うち生命保険	149,207	△1,666	△1.1	150,873

## ② きらやか銀行

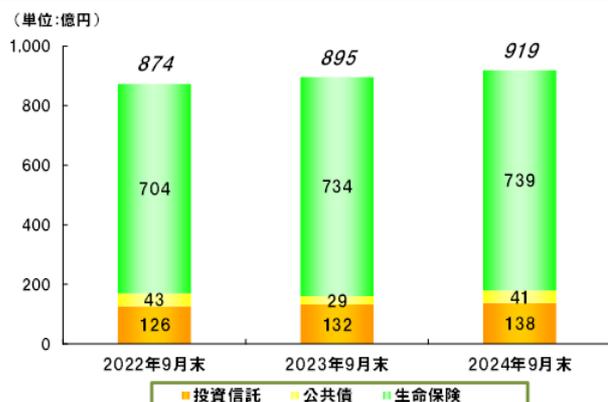


- 預かり資産残高は、2023年9月末比2億35百万円減少の983億85百万円となりました。
- 投資信託は、2023年9月末比18億46百万円増加の221億82百万円となりました。
- 公共債は、2023年9月末比1億60百万円増加の9億82百万円となりました。
- 生命保険は、2023年9月末比22億42百万円減少の752億19百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	2023年9月末
預かり資産(末残)	98,385	△235	△0.2	98,620
うち投資信託	22,182	1,846	9.0	20,335
うち公共債(国債等)	982	160	19.5	822
うち生命保険	75,219	△2,242	△2.8	77,462

## ③ 仙台銀行



- 預かり資産残高は、2023年9月末比24億2百万円増加の919億89百万円となりました。
- 投資信託は、2023年9月末比6億35百万円増加の138億83百万円となりました。
- 公共債は、2023年9月末比11億90百万円増加の41億17百万円となりました。
- 生命保険は、2023年9月末比5億76百万円増加の739億87百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	2023年9月末
預かり資産(末残)	91,989	2,402	2.6	89,586
うち投資信託	13,883	635	4.7	13,248
うち公共債(国債等)	4,117	1,190	40.6	2,927
うち生命保険	73,987	576	0.7	73,410

# 6. 有価証券の状況

## ① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、2023年9月末比1,452億91百万円減少の3,486億8百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、2023年9月末比87億43百万円改善し、235億7百万円の評価損となりました。

### ①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	2023年9月末
有 価 証 券	348,608	△ 145,291	△ 29.4	493,899
国 債	5,171	21	0.4	5,149
地 方 債	35,547	△ 7,935	△ 18.2	43,483
社 債	51,026	△ 24,204	△ 32.1	75,231
株 式	9,643	907	10.3	8,735
そ の 他 証 券	247,219	△ 114,080	△ 31.5	361,299

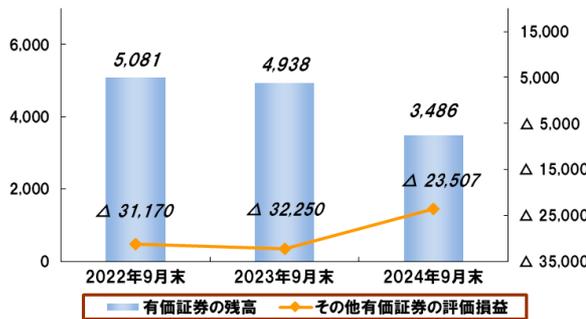
### ②その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

	2024年9月末	2023年9月末比	2023年9月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 23,507	8,743	△ 32,250
株 式	498	△ 355	853
債 券	△ 681	1,424	△ 2,105
そ の 他	△ 23,324	7,673	△ 30,998

残高(単位:億円)

評価損益(単位:百万円)



## ② きらやか銀行

- 有価証券残高は、2024年3月期に有価証券の一部を売却したことにより、2023年9月末比1,257億82百万円減少し、924億31百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、評価損のある有価証券の一部売却により、2023年9月末比82億57百万円改善し、100億39百万円の評価損となりました。

### ①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	2023年9月末
有 価 証 券	92,431	△ 125,782	△ 57.6	218,214
国 債	-	-	-	-
地 方 債	-	△ 6,902	△ 100.0	6,902
社 債	17,188	△ 21,433	△ 55.4	38,622
株 式	6,139	△ 474	△ 7.1	6,613
そ の 他 証 券	69,103	△ 96,971	△ 58.3	166,075

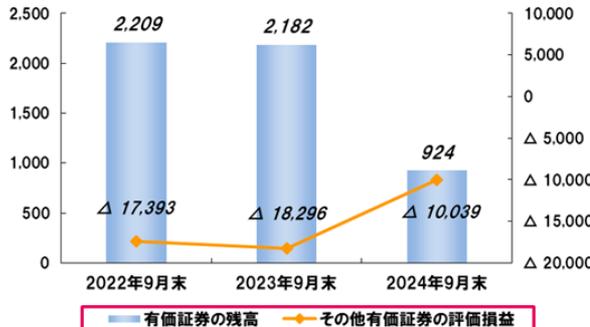
### ②その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

	2024年9月末	2023年9月末比	2023年9月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 10,039	8,257	△ 18,296
株 式	70	△ 317	387
債 券	△ 111	1,449	△ 1,561
そ の 他	△ 9,997	7,124	△ 17,122

残高(単位:億円)

評価損益(単位:百万円)



## ③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向を踏まえたポジションの見直しにより、2023年9月末比195億8百万円減少し、2,561億76百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、評価損銘柄の一部解約を進めたことなどにより、2023年9月末比4億85百万円改善し、134億67百万円の評価損となりました。

### ①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	2024年9月末	2023年9月末比	増減率	2023年9月末
有 価 証 券	256,176	△ 19,508	△ 7.0	275,685
国 債	5,171	21	0.4	5,149
地 方 債	35,547	△ 1,032	△ 2.8	36,580
社 債	33,837	△ 2,770	△ 7.5	36,608
株 式	3,504	1,382	65.1	2,122
そ の 他 証 券	178,115	△ 17,108	△ 8.7	195,223

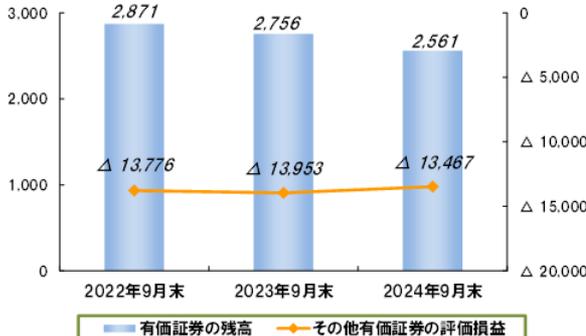
### ②その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

	2024年9月末	2023年9月末比	2023年9月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 13,467	485	△ 13,953
株 式	428	△ 37	466
債 券	△ 569	△ 25	△ 543
そ の 他	△ 13,326	549	△ 13,876

残高(単位:億円)

評価損益(単位:百万円)

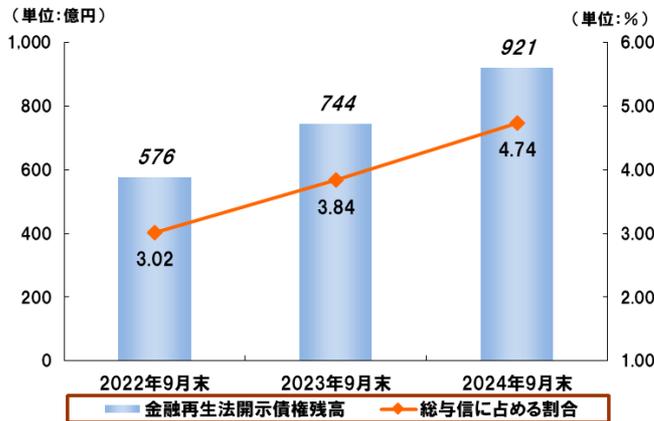


(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

# 7. 金融再生法開示債権の状況

## ① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2023年9月末比176億68百万円増加の921億29百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2023年9月末比0.90ポイント上昇し、4.74%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

	2024年9月末		2023年9月末
	債権額	保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16,781	10,531	6,250
危険債権	71,859	9,625	62,233
要管理債権	3,488	△ 2,488	5,977
合計 (A)	92,129	17,668	74,460
正常債権	1,848,911	△ 11,062	1,859,974
総与信額 (B)	1,941,041	6,606	1,934,435
(A / B)	4.74	0.90	3.84

②金融再生法開示債権の保全状況(2024年9月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16,781	16,781	6,663	10,118	100.00
危険債権	71,859	60,865	46,179	14,685	84.70
要管理債権	3,488	2,064	1,954	109	59.17
合計	92,129	79,711	54,798	24,913	86.52

## ② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2024年3月期に取引先の状況を踏まえて、債務者区分の見直しを行ったことから、2023年9月末比168億47百万円増加の603億25百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2023年9月末比1.81ポイント上昇し6.15%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

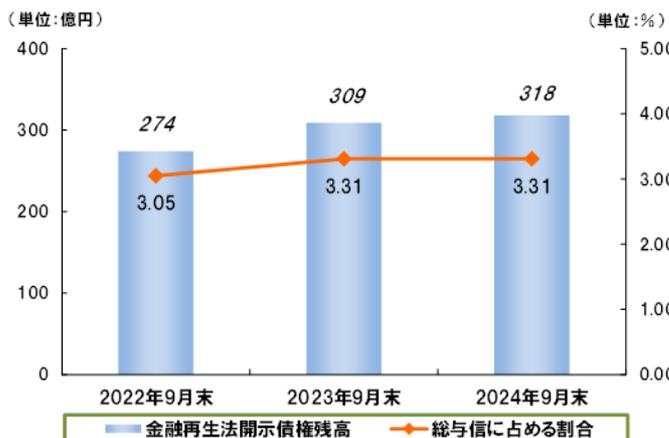
	2024年9月末		2023年9月末
	債権額	保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14,104	9,457	4,646
危険債権	45,831	9,530	36,300
要管理債権	389	△ 2,140	2,530
合計 (A)	60,325	16,847	43,478
正常債権	919,927	△ 36,668	956,595
総与信額 (B)	980,252	△ 19,820	1,000,073
(A / B)	6.15	1.81	4.34

②金融再生法開示債権の保全状況(2024年9月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14,104	14,104	4,707	9,397	100.00
危険債権	45,831	35,616	25,207	10,409	77.71
要管理債権	389	100	79	21	25.76
合計	60,325	49,821	29,994	19,827	82.58

## ③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、物価高等の影響に伴う取引先の業況悪化等により、2023年9月末比8億21百万円増加の318億3百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2023年9月末と同水準の3.31%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

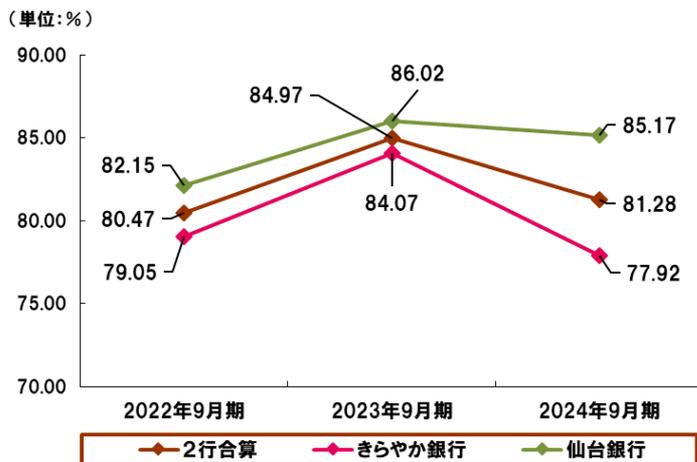
	2024年9月末		2023年9月末
	債権額	保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,677	1,073	1,604
危険債権	26,027	95	25,932
要管理債権	3,098	△ 347	3,446
合計 (A)	31,803	821	30,982
正常債権	928,984	25,605	903,378
総与信額 (B)	960,788	26,427	934,361
(A / B)	3.31	△ 0.00	3.31

②金融再生法開示債権の保全状況(2024年9月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,677	2,677	1,956	721	100.00
危険債権	26,027	25,248	20,971	4,276	97.00
要管理債権	3,098	1,963	1,875	88	63.37
合計	31,803	29,889	24,803	5,085	93.98

## 8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、2023年9月期比3.69ポイント改善し、81.28%となりました。



(単位:%)

		2024年9月期	2023年9月期比	2023年9月期
コアOHR	2行合算	81.28	△ 3.69	84.97
	きらやか銀行	77.92	△ 6.15	84.07
	仙台銀行	85.17	△ 0.85	86.02

## 9. 2025年3月期 通期業績予想及び配当方針

### ① きらやか銀行 単体業績予想（変更ございません）

- 第2四半期決算は中間純利益9億70百万円を計上しましたが、その要因は与信関係費用が、以下の要因により、当初予想7億円に対して△93百万円の実績となったことによるものです。
  - ① 新規費用発生への備えは、倒産発生や経営状況が悪化した先が当初予想より少なかったこと。
  - ② 再生支援費用は、再生支援の追加コストが当初予想よりも少なかったこと。
- 通期における与信関係費用は、当初予想どおり、年間15億円を見込んでおります。
  - ① 新規費用発生への備えは、今後、取引先への物価上昇などの影響が顕在化することも念頭におき、当初予想どおり年間14億円を見込んでおります。
  - ② 再生支援費用は、支援継続先に対するサポートを展開しておりますが、追加発生や前倒し対応の可能性があり、当初予想どおり年間7億円を見込んでおります。
  - ③ 取引先の債務者区分のランクアップによる貸倒引当金戻入益は、当初予想どおり年間6億円を見込んでおります。
- このため通期業績予想は、経常利益2億円、当期純利益1億円を見込み、当初予想から変更はございません。

(単位:百万円)

	2025年3月期	(参考) 2024年3月期 実績
経常利益	200	△ 23,778
当期純利益	100	△ 24,428

## ② 仙台銀行 単体業績予想（変更ございません）

- 金利上昇に伴い預金等利息が増加する見込みですが、貸出金利息や役員収益の増加、物件費の減少でカバーすることで、通期業績予想は、経常利益13億円、当期純利益8億円を見込み、当初予想から変更はございません。

（単位：百万円）

	2025年3月期	(参考) 2024年3月期 実績
経常利益	1,300	1,693
当期純利益	800	1,167

## ③ じもとホールディングス 連結業績予想（変更ございません）

- じもとホールディングスの2025年3月期の通期連結業績予想は、経常利益15億円、親会社株主に帰属する当期純利益9億円の黒字回復を見込んでおり、当初予想から変更はございません。

（単位：百万円）

	2025年3月期	(参考) 2024年3月期 実績
経常利益	1,500	△ 22,329
当期純利益	900	△ 23,462

## ④ じもとホールディングス 配当方針（変更ございません）

- 2025年3月期の連結業績予想においては黒字回復を見込むものの、2024年5月14日に発表しましたとおり、普通株式及び各種優先株式の配当予想は未定としております。現時点において配当予想に変更はございません。
- 前回発表のとおり、年間配当水準は当社連結の通期業績予想に連動しておりますことから、今後の配当予想を開示する場合は、期末配当に一本化する予定でございませぬ。
- 2024年9月20日に国の承認をいただき公表しました当社グループの経営強化計画は、2025年3月期以降配当を行う前提で記載しております。
- 当社及び子銀行は、経営強化計画を確実に実行することで黒字決算への回復と復配に取り組むとともに、公的資金返済に向けた剰余金の積上げに取り組んでまいります。

### 【配当予想】

基準日	中間	期末	年間
2025年3月期	0円00銭	未定	未定
(参考)2024年3月期	0円00銭	0円00銭	0円00銭